資料　２

（26.10.29）

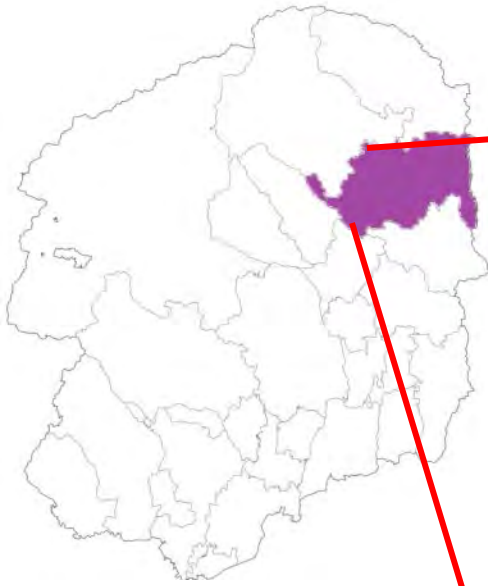
地域活性化のための規制緩和
廃校活用の規制緩和の提案

とちぎニュービジネス協議会

(株)大田原ツーリズム　藤井　大介

栃木県大田原

年月日	人口(計)	人口(男)	人口(女)	世帯数
平成23年08 月01日	77,032人	39,159人	37,873人	28,149世帯



栃木県白地図　大田原市を紫色で表示

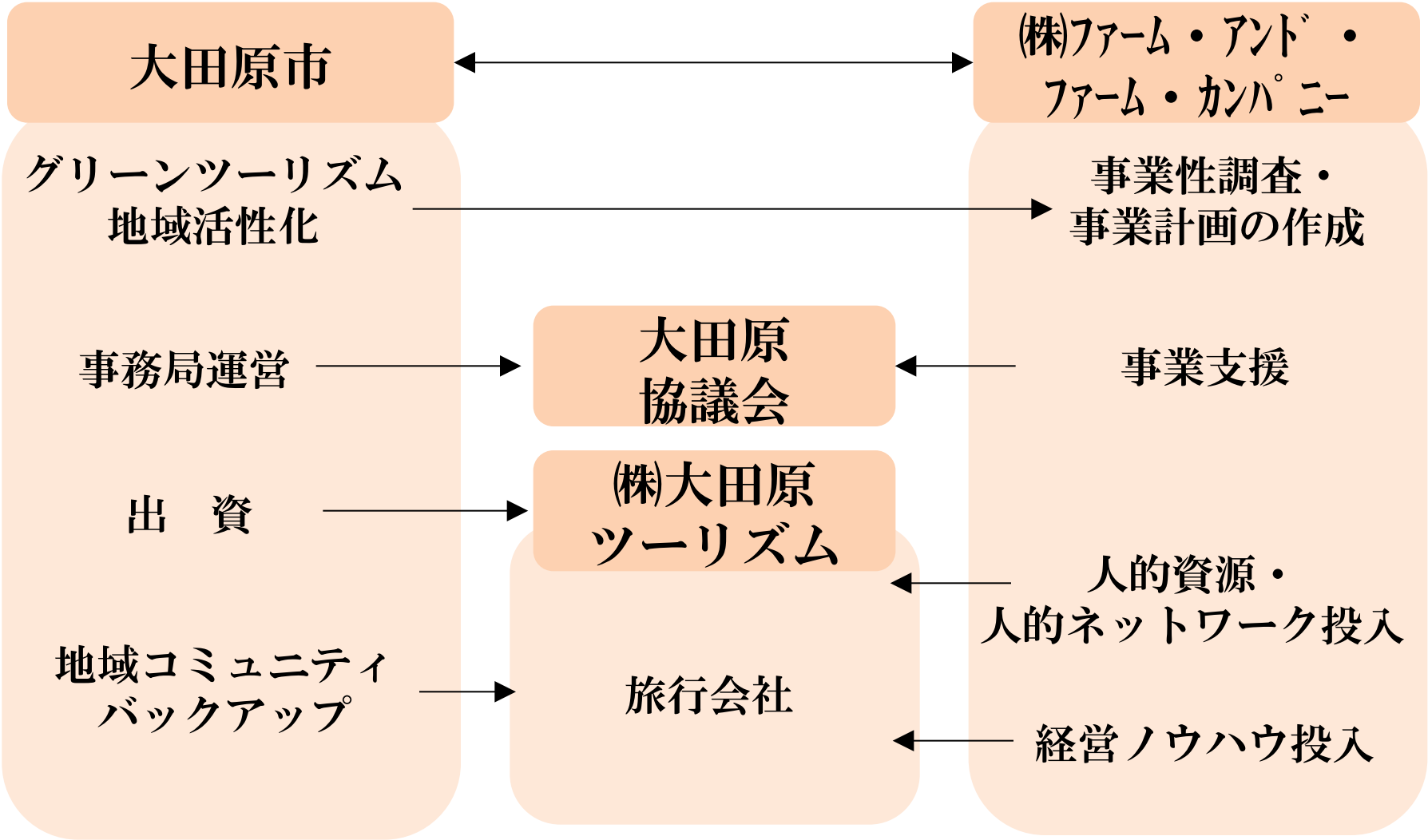
- 鮎の漁獲量日本一の清流那珂川が県の中央を流れている。

・市の西側は那須野が原と呼ばれ、市の東側は八溝山系の山間部である。この山の雪解け水が豊かな水源となっている。

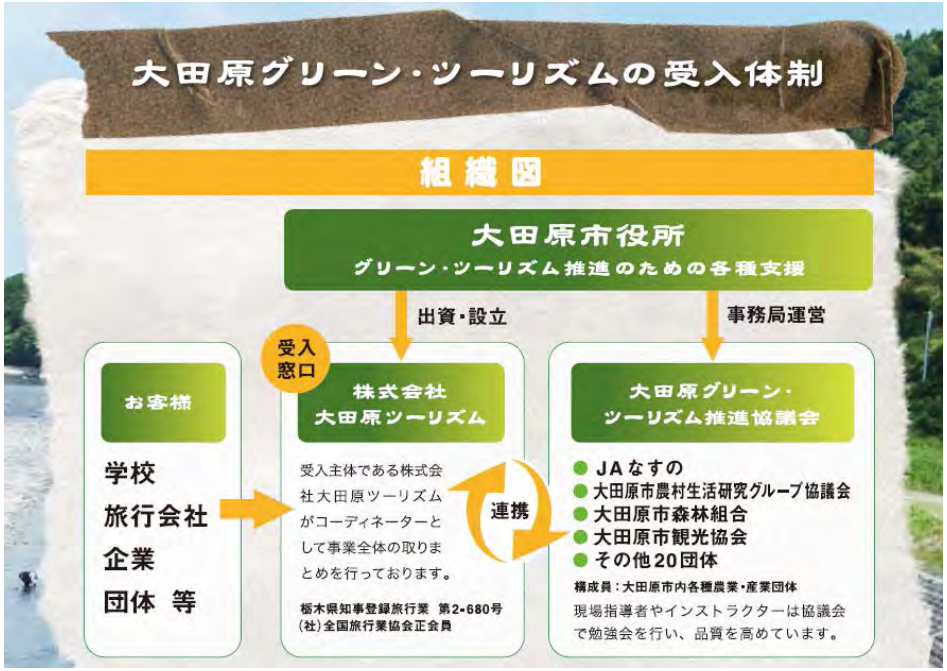
出典：大田原市ＨＰ

株式会社　大田原ツーリズムの設立

官民連携　PPP（Public Private Partnership）



会社概要



商号	株式会社 大田原ツーリズム
事務所所在地	大田原市本町1丁目3番3号 大田原市総合文化会館2階
役員	９名（常勤1名）
社員	５名
グリーン・ツーリズム事業	３名
商品開発事業	２名

- 代表取締役会長　永山　林　（大田原市副市長）
  代表取締役社長　藤井　大介　(㈱ﾌｧｰﾑ･ｱﾝﾄﾞ･ﾌｧｰﾑ･ｶﾝﾊﾟﾆｰ 代表取締役)
  取締役　黒﨑　博孝（大田原市総合政策部長）
  取締役　渡辺　脩司（大田原市観光協会会長）
  取締役　川嶋　寛（那須野農業協同組合長）
  取締役　花垣　紀之（（財）都市農山漁村交流活性化機構）
  社外取締役　五家　正（㈱とちぎテレビ 常務取締役）
  社外取締役　濱野　光（㈱エフエム栃木 常務取締役）
  監査役　西海　武雄（大田原市産業文化部長）
- 現在　6,500万円（5,000万円を大田原市が出資）

大田原の体験

観光地ではないこの大田原で、田舎にある、そこにある人と地域資源を活用しながら、自分達が提供できる体験を１２０以上のプログラムにまとめました

- 農山村交流・田舎生活体験
  - 農泊
- 教育プログラム
  - 環境教育
  - チーム教育
- 産業体験
  - プレミアム農業体験
  - 農業
  - 食
  - 林業
- 自然体験
  - アウトドアアクティビティ
  - 自然観察
- 歴史・文化体験
  - 文化財
  - 祭／行事
  - 伝統文化
  - 演芸
- 工芸・クラフト体験
  - 工芸
  - クラフト

例

14 田植え体験

栃木県内随一の米生産高を誇る大田原市で田植えを体験します。小中学生には、お見上げに苗をプレゼント。自宅や学校で収穫まで苗を育てていただけます。

4～6月頃
要相談
要相談

15 梨の収穫

梨名人の指導を受けながら、キウイと梨の収穫体験・味覚体験をすることにより、農業に対する関心を高め、また実りの秋の象徴であるさつまいもの収穫体験を通して土との触れ合いを楽しみます。

4～6月頃
要相談
要相談

16 稲刈り体験
17 ブルーベリー収穫体験
18 りんご狩り
19 ぶどう狩り
20 栗拾い
21 梅の収穫・梅干し作り
22 トウモロコシ収穫
23 さつま芋り、栗きんとん作り

7 芭蕉の句碑めぐり

黒羽に滞在したその足跡をたどりながら、芭蕉の句と黒羽の自然、文化財を堪能し、日本の歴史と伝統、文化を学ぶことができます。

通年
20～30時間
100名

8 芭蕉体験

わらじや脚絆、杖作りなど芭蕉の旅支度からはじめて、それらを身に着け、江戸時代のお弁当を再現し、芭蕉の句碑を巡ります。

通年
1日
100名

9 古墳巡り

古墳の作り方や古墳時代の生活を事前に勉強し、実際に古墳を巡り、古墳時代の社会の状況を理解します。

○○○○○
2時間
100名

10 雲巌寺散策

臨済宗妙心寺派の名刹。俳聖松尾芭蕉は、この地で「木蔦も 淹は寂らす夏木立」の句を残しています。春の新緑・秋の紅葉・冬の雪景色は見事です。

通年
0.5時間
50名

11 大田原七福神巡り

七福神のお参りをしながら、大田原市の文化財に親しみます。

1・5・9月の1～7日
3時間
100名

98 陶芸
99 草木染め
100 ストーンペイント
101 勾玉
102 蜜蝋キャンドル
103 小鳥笛作り

33 七味作り体験

5月頃に唐辛子「栃木三鷹」の苗を植え、秋に収穫し、その後収穫した唐辛子を七味にして、郷土料理と一緒にいただきます。

5月頃と秋
年2回／1泊2日
要相談

34 田舎饅頭作り

地元の方を先生に迎え、田舎饅頭作りを行います。

7月
○○○○○
20名

62 ラフティング体験

自然豊かな那珂川をラフティングで満喫していただきます。

4～5月、10～11月
日中3時間～4時間
15～100名

63 カヤック体験

この地域を流れるダムのない那珂川を、源流から河口まで下ります。

通年
日中3時間～4時間
20～100名

農家民泊

一番の田舎の良さは、そこにある自然と環境、そして何よりも、気さくに話せる田舎のおじいちゃんとおばあちゃん、その交流を大切にしてます。

農家の家に泊まり、農家の生活体験をしながら、農業や、環境、ふるさとの大切さを体験し、田舎の人と交流しなければ得られない感動があります。

現在市内で７２軒の農家民泊

受け入れ先づくり